

(別紙4(2))

事業所名: 有限会社グループホームゆうゆうてらわき

目標達成計画

作成日: 令和3年12月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 34 | 利用者様の高齢化もあり、食事時のムセ・誤嚥が観られ、「食事を楽しんでいただきたい」ことも重要視しながら、誤嚥、窒息などの事故を防ぎたい。 | 食事中・服薬中の事故(誤嚥・窒息)を起こさない。 | ・食事の時間は、勤務者全員食堂で待機する(見守り) ・利用者様が食べられる前に勤務者全員が検食し刻み、トロミ状況を確認する。 ・食事前は嚥下体操をし、食事姿勢の確認(前傾) ・誤嚥・窒息が起きた場合の対応法を、全員が把握するようにする。(背部叩打法・ハムリック法・救急要請) | 4ヶ月 |
| 2 | 4 | コロナ禍から、運営推進会議の開催が中止の状態で、家族の方、市職員、地域の方との直接の交流が薄くなっている。 | コロナ禍前のように多数の方の参加で、多様な意見交換をし、楽しい時間を設けたい。コロナ禍前以上に利用者様の参加など、たくさんの参加者の中で、内容の濃い会議を行う。 | ・会議日程を早めに決定し、多くの方に報告し、参加の有無の確認する。 ご家族や、有職者の方(参加者)に事前に会議内容(どんなことを話し合いたいか)について意見をおききする。 ・当日出勤の職員も会議参加し、身体拘束や、ヒヤリハットについて話す。 | 4ヶ月 |
| 3 | 9 | 利用者様入所時の契約書が、開設当時の文書そのまま、簡潔でない。内容が難しい。 | 契約書の内容を見直しをし、簡潔で、わかりやすいものとし、利用者様、ご家族に納得していただき、当ホームを十分に理解していただいたうえで契約を交わす。重要事項説明書・運営規程などについても見直す。 | ・文書内容について全職員に意見をうかがう。 ・多職種の方に意見をうかがう。(市職員等) ・インターネットなどで、文書作成法について学ぶ。 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。